

# SIDR 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

## 週報 平成 25 年 (2013 年) 第 46 週 (11 月 11 日～11 月 17 日)

発行年月日:平成 25 年(2013 年)11 月 21 日  
 発行:滋賀県感染症情報センター  
 滋賀県衛生科学センター 健康科学情報担当  
 電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548  
 e-mail:ef4505@pref.shiga.lg.jp

- 報告数の多かった感染症は感染性胃腸炎、RS ウイルス感染症、水痘
- RS ウイルス感染症が先週と比べて増加
- 水痘が第 44 週より 3 週連続して増加

### 1. 全数報告の感染症

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に報告することになっています。これらの報告のあった症例を診断された週毎に集計しています。

平成 25 年第 1 週以降に診断された疾患のみを集計して下の表に示しています。なお、期日以降に報告があった場合は、再集計し、掲載しています。

診断週	類型	報告数	詳細情報
第 46 週診断例	一類感染症	報告なし	
	二類感染症	結核 3例	肺結核; 1例、腸結核; 1例、無症状病原体保有者; 1例
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1例	10歳代 女性、O157 VT不明
	四類感染症	報告なし	
	五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症 1例	10歳未満 女性
第 45 週以前の診断例(*)	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1例	30歳代 女性、O157 VT2、無症状病原体保有者

(\*) 第 1 - 45 週に診断され第 46 週に報告された症例

分類	疾患	滋賀県		保健所別(46週)							平成25年累計		平成24年累計 <sup>※</sup>	
		45週	46週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	滋賀県	全国	滋賀県	全国
二類	結核	5	3	0	1	0	1	0	1	0	249	23,373	254	28,951
三類	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	129	0	213
	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	1	0	0	0	0	0	40	3,696	37	3,765
四類	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	995	10	898
五類	アメーバ赤痢	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	925	13	931
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	246	4	235
	急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	312	3	361
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	188	2	183
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	182	3	243
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1,334	9	1,427
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 <sup>※※</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	90	—	—
	侵襲性肺炎球菌感染症 <sup>※※</sup>	1	1	0	0	0	0	0	1	0	9	728	—	—
	梅毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,075	1	891
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122	14,269	12	2,391
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	5
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	213	1	285	

※ : 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症疫学センター 平成25年3月現在)

※※ : 平成25年4月1日から感染症発生動向調査の対象感染症として追加

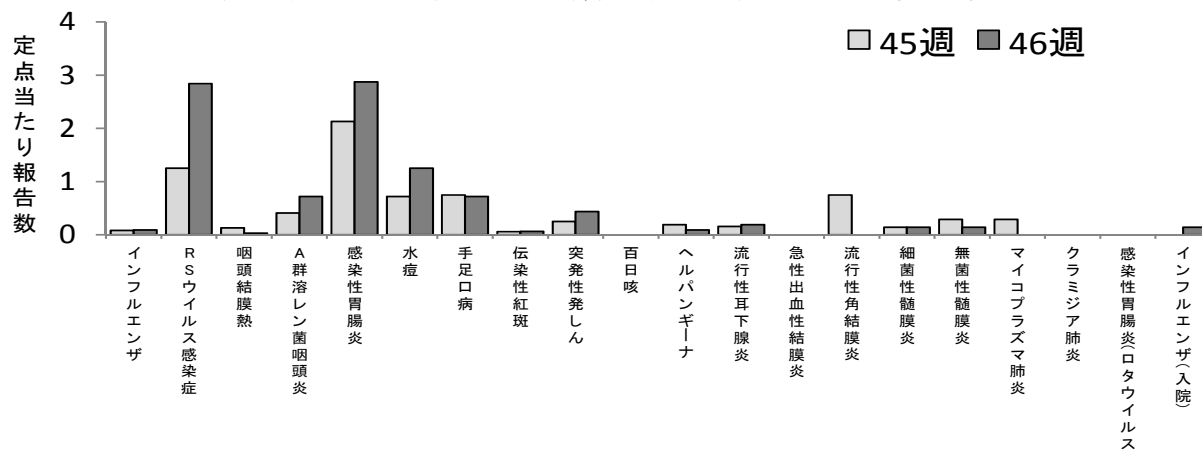
## 2. 定点把握の対象となる五類感染症の発生状況

警報： なし

注意報： なし

- 1) 報告数の多かった感染症は、多い順に感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、水痘でした。
- 2) RSウイルス感染症が先週と比べて増加しました。第46週の定点あたり報告数(2.84)は過去5年間の同時期と比べるともっとも多い報告数です。
- 3) 水痘が第44週より3週連続して増加しました。

定点把握の対象となる五類感染症の定点あたり報告数



## 3. 定点把握の対象となる五類感染症の保健所管内別の定点あたり報告数

感染症発生動向調査事業において、滋賀県が指定した定点医療機関(指定報告機関)から報告される感染症を定点把握対象感染症と呼びます。週単位(月曜日から日曜日)で報告される感染症について、滋賀県および管轄保健所別定点あたり報告数を下の表に示しています(定点あたり報告数=報告数/定点医療機関数)。

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県		保健所別(46週)						
		45週	46週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ (53)	インフルエンザ	0.08	0.09	0	0.20	0	0.25	0	0.14	0
小児科 (32)	RSウイルス感染症	1.25	2.84	2.57	1.67	4.25	5.40	1.00	0	7.50
	咽頭結膜熱(プール熱)	0.13	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	0.72	0	1.17	1.00	0.40	0.25	2.25	0
	感染性胃腸炎	2.13	2.88	4.29	1.83	0.75	2.00	4.00	4.50	2.00
	水痘	0.72	1.25	1.14	0.83	3.00	0.20	1.25	2.25	0
	手足口病	0.75	0.72	0.57	0.17	0	2.00	0.50	0.50	2.00
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0
	突発性発しん	0.25	0.44	0.71	0.33	0.75	0.20	0.50	0	0.50
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	0.19	0.09	0	0	0	0	0	0.50	0.50
眼科 (8)	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.19	0.14	0	0.25	0.20	0.75	0	0
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹 (7)	流行性角結膜炎	0.75	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	0.14	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0.29	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)※※	0	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	0

\* 平成25年10月14日の滋賀県感染症発生動向調査事業実施要綱改正に伴い、基幹定点からの報告数(定点あたり報告数)を掲載

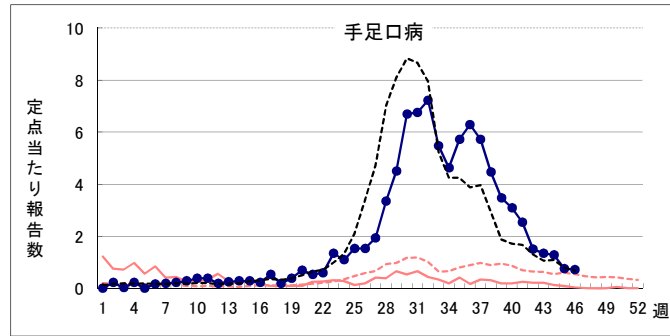
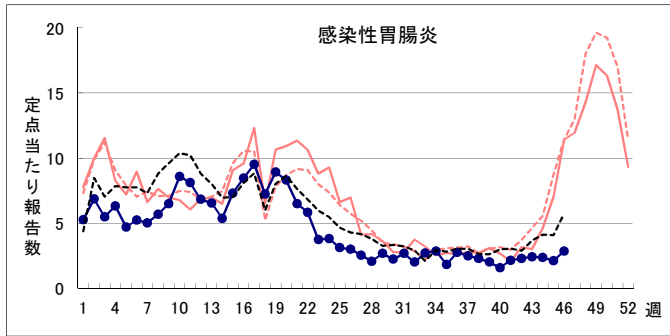
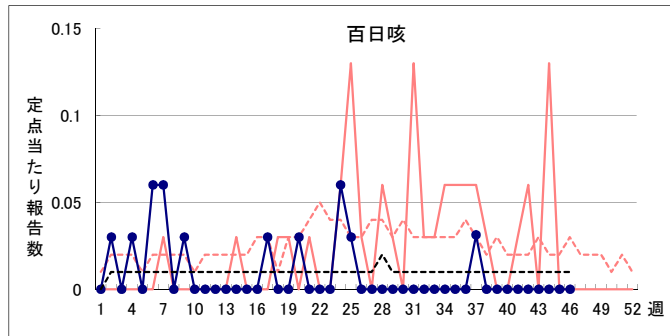
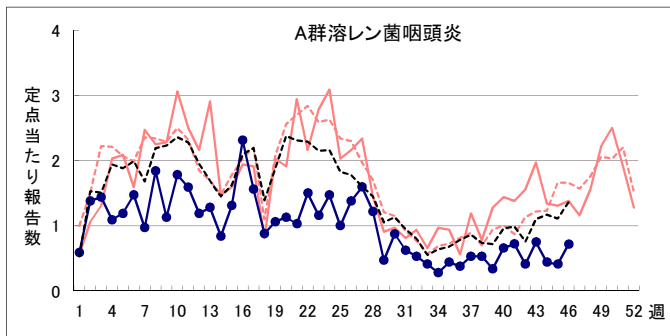
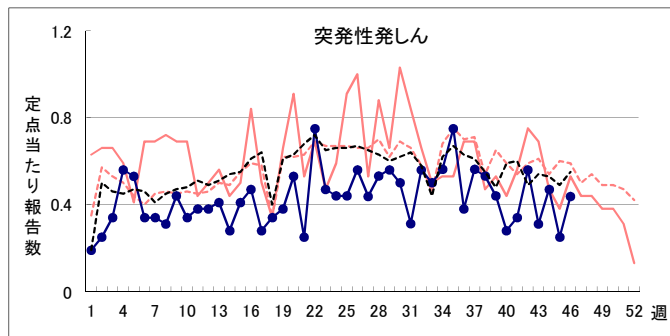
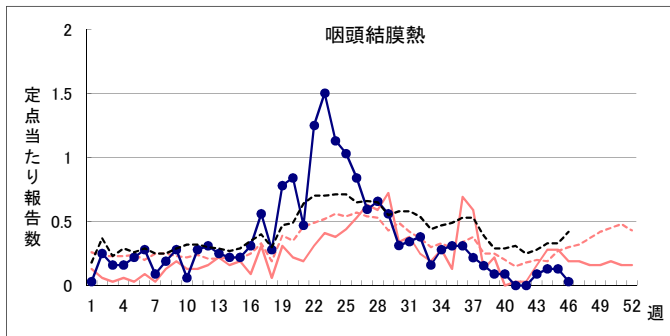
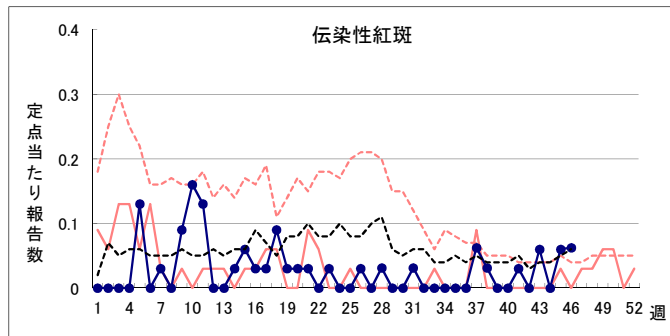
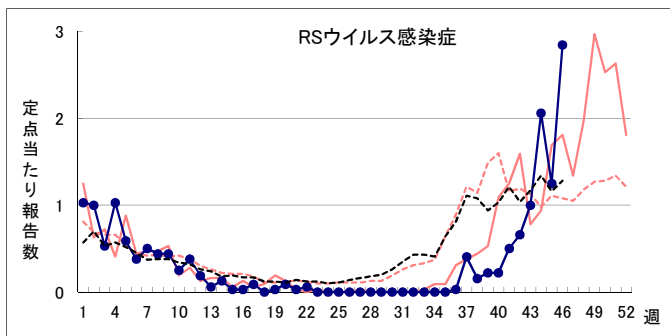
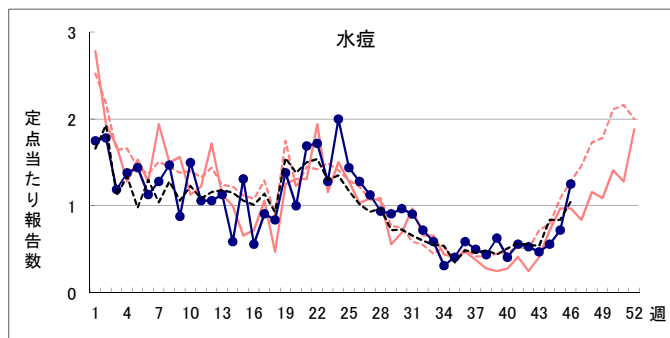
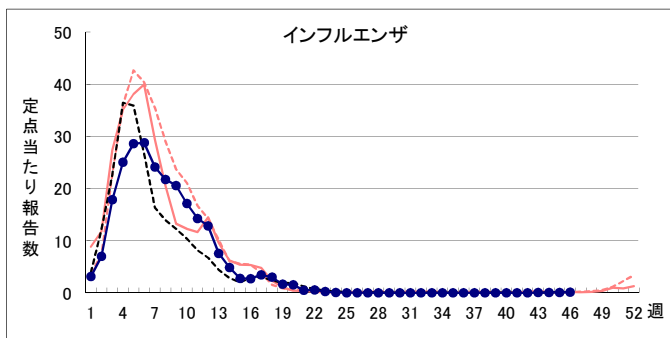
\* 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点あたり報告数)を掲載

赤字： 警報レベルの基準値(開始基準値または終息基準値)を超過

紫字： 注意報レベルの基準値を超過

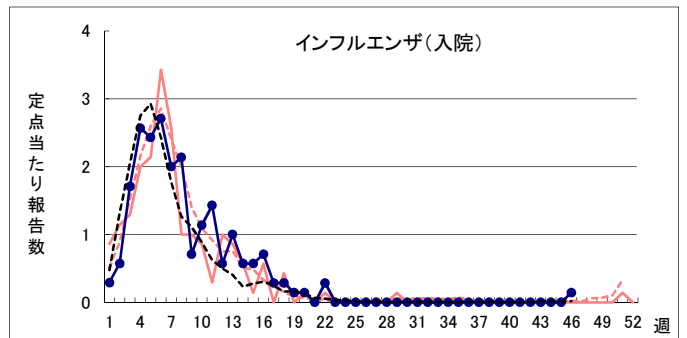
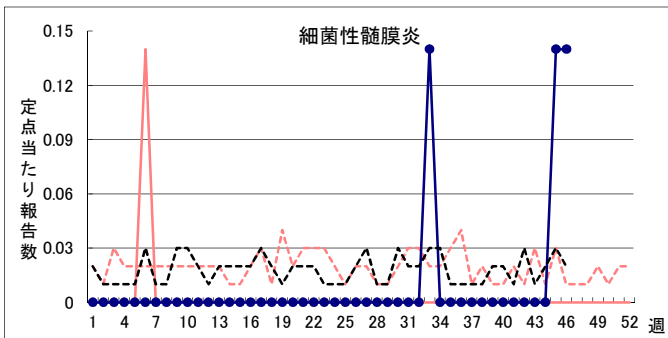
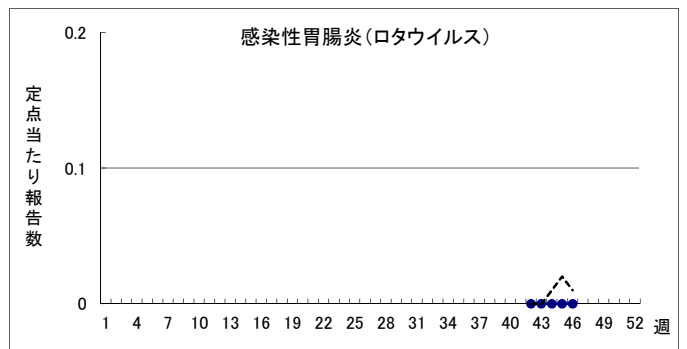
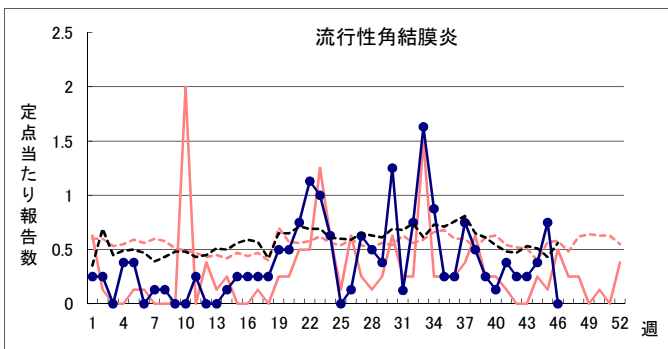
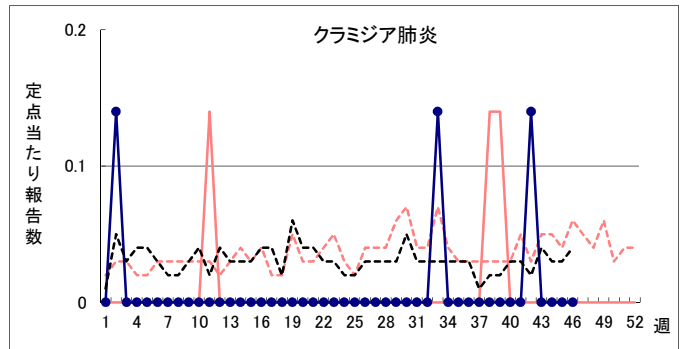
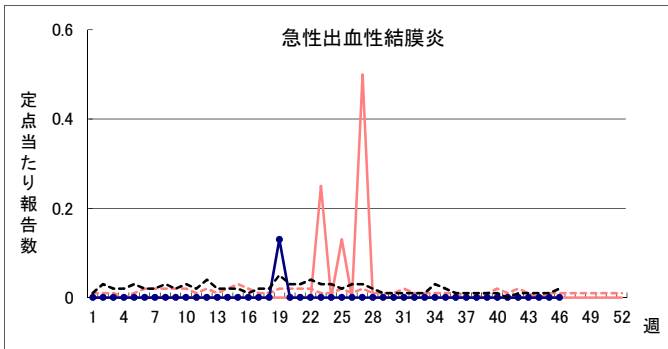
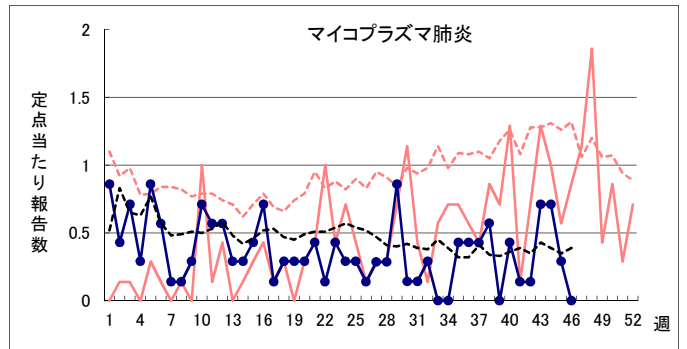
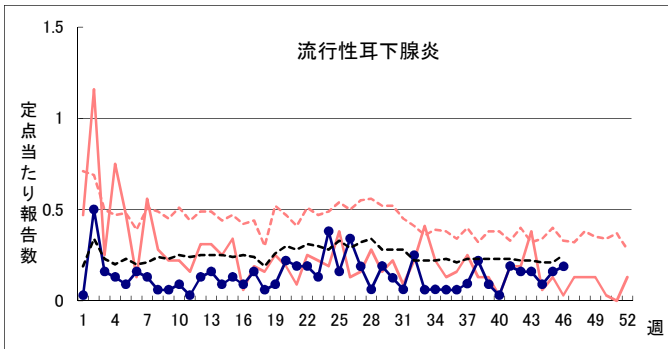
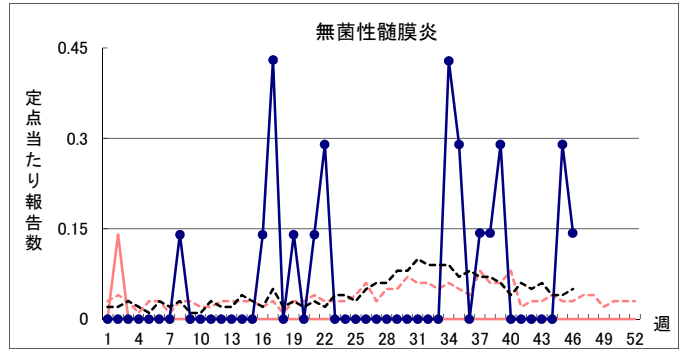
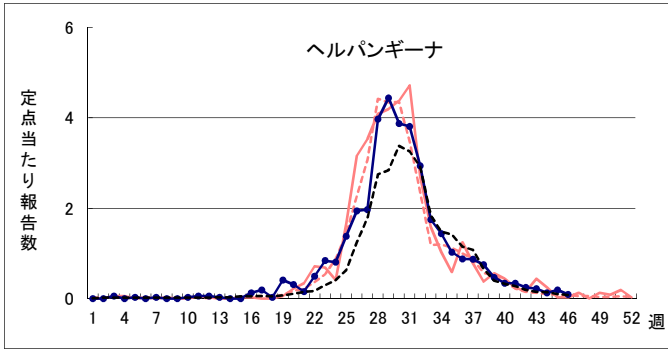
# 4-1. 疾病別定点当たり報告数

H24 [ 滋賀 ———— 全国 ..... ] H25 [ 滋賀 ●——● 全国 ..... ] 平成25年第46週



## 4-2. 疾病別定点当たり報告数 平成25年第46週

H24 [ 滋賀 ———— 全国 ..... ] H25 [ 滋賀 ●——— 全国 ..... ]



## RSウイルス感染症の発生動向 平成25年第46週

1. RSウイルス感染症の定点あたり報告数(2.84)は過去5年間の同時期と比べるともっとも多い報告数です。
2. 甲賀、東近江および高島保健所管内では他保健所管内と比べて多く報告されています。
3. 第46週に報告された症例は51%が1歳以下、98%が3歳以下です。
4. 例年、患者報告は9月以降に徐々に増加し、12月にピークを迎えています

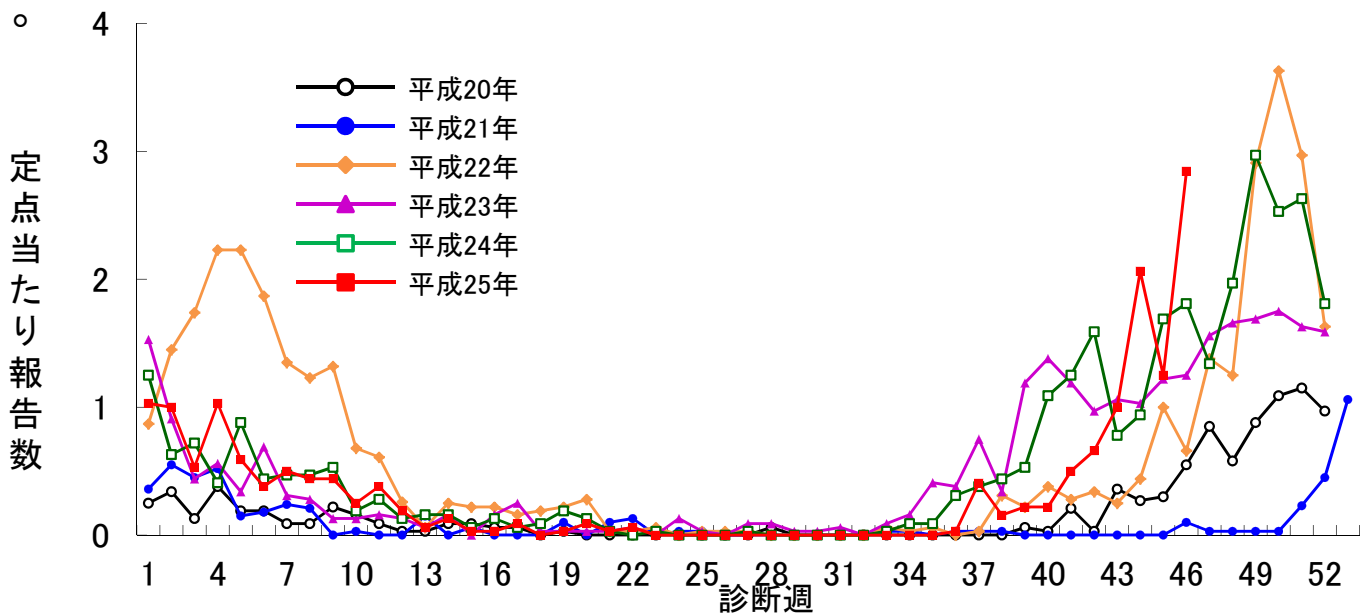


図1. 診断週別定点あたり報告数(平成20年第1週—平成25年第46週)

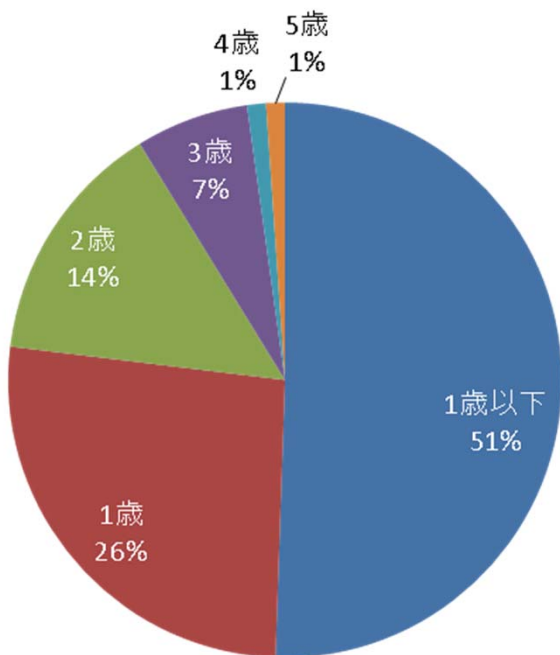


図2. 年齢割合  
(平成25年第46週、n=91)

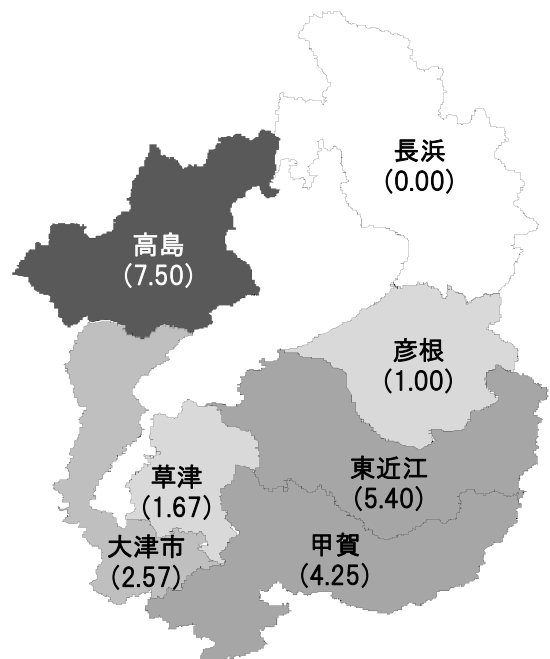


図3. 保健所別定点あたり報告数  
(平成25年第46週)